

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東大

上場会社名 中外鉱業株式会社
 コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 安藤 道明
 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	25,214	△10.6	△414	—	△456	—	△480	—
21年3月期第3四半期	28,193	34.9	1,831	—	1,785	—	△976	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△1.66	—
21年3月期第3四半期	△3.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	9,785	8,954	91.5	30.91
21年3月期	9,976	9,435	94.6	32.57

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,954百万円 21年3月期 9,435百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	△8.5	△550	—	△610	—	△630	—	△2.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	289,747,982株	21年3月期	289,747,982株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	85,306株	21年3月期	82,738株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	289,663,706株	21年3月期第3四半期	289,667,507株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融危機に端を発した世界的な景気低迷から、輸出や生産の持ち直し等により一部で回復の兆しが見えつつあるものの、企業収益の低迷による設備投資の抑制、雇用情勢の悪化、デフレの進行、為替相場の高騰による企業収益の悪化等、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は概ね回復を続けてきているものの、景気低迷による需要の減少、為替相場の変動等から業績は低調に推移いたしました。不動産市況においても、一部で不動産価格の底打ちの兆候がみられるものの、資金調達環境の改善の兆しは見られず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、25,214,323千円（前年同期28,193,833千円）、営業損益は414,861千円の損失（前年同期は1,831,012千円の利益）、経常損益は456,826千円の損失（前年同期は1,785,517千円の利益）、四半期純損益は480,426千円の損失（前年同期は976,044千円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、東京工場（大田区京浜島）において、生産効率の高い金精製設備の増設を完了し、平成21年4月から月産1,000キログラムの金生産体制が整いました。これにより金の生産量、販売量、共に前年同期を上回り、10月以降の業績は概ね好調に推移したものの、増産設備に見合う適正な原料集荷等、安定操業の維持が困難であったことに加え、固定費の増加等が影響し、累計期間の業績は低迷いたしました。

この結果、売上高24,125,963千円（前年同期22,238,877千円）、営業損益は102,216千円の損失（前年同期206,193千円の損失）となりました。

不動産事業におきましては、低金利の継続と大幅に拡充された住宅ローン減税等の政策支援により、一部で在庫調整が進捗するなど好転の兆しが見られるものの、ビル賃貸市場では、企業収益の悪化に伴う空室率の上昇、賃料水準の下落傾向が続く等、不動産市況は依然厳しい環境のもと推移いたしました。

この結果、売上高281,258千円（前年同期4,851,542千円）、営業損益は195,440千円の損失（前年同期2,840,732千円の利益）となりました。

機械事業におきましては、中国をはじめとするアジア諸国の経済の拡大、在庫調整の進捗等、景気は緩やかな回復基調にあるものの、日本、米国、欧州等先進国の工作機械の受注は、依然低迷を続けており、中古工作機械においても企業収益の悪化に伴う設備投資の抑制の影響を大きく受け業績は低迷いたしました。

この結果、売上高485,826千円（前年同期1,103,413千円）、営業利益は163,046千円の損失（前年同期414,393千円の損失）となりました。

投資事業におきましては、有利で安定した運用を基本とし、有価証券等に投資を行っており、営業損益は306,937千円の利益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産の残高は、前連結会計年度末より191,586千円減少し、9,785,147千円となりました。

増加の主なものは、受取手形及び売掛金の増加（1,762,514千円から2,353,831千円へ591,316千円の増加）、商品及び製品の増加（393,672千円から606,336千円へ212,663千円の増加）であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少（1,830,190千円から1,448,605千円へ381,585千円の減少）、仕掛不動産の減少（1,463,178千円から1,255,417千円へ207,761千円の減少）、預け金の減少（1,762,263千円から1,444,744千円へ317,518千円の減少）であります。

当第3四半期における負債の残高は、前連結会計年度末より288,939千円増加し、830,511千円となりました。

増加の主なものは、長期借入金の増加（2,625千円から383,102千円へ380,477千円の増加）であります。

減少の主なものは、未払金の減少（189,015千円から48,657千円へ140,358千円の減少）であります。

当第3四半期における純資産の残高は、前連結会計年度末より480,526千円減少し、8,954,635千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少（3,316,168千円から3,796,595千円へ480,426千円の減少）であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より2,143,848千円減少し、1,448,605千円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果使用した資金は2,486,463千円(前年同四半期は2,212,742千円の獲得)となりました。これは主に税引等調整前四半期純損益が465,304千円の損失、売上債権の増加額591,316千円、預け金の増加額1,589,434千円があったことによるものであります。なお、前連結会計年度末においては預け金の残高は証券会社預け金として現金同等物の残高に含めて表示しておりましたが、当第3四半期会計年度末においては預け金の増加額として表示しております。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は88,318千円(前年同四半期は152,324千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出91,794千円があったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果得られた資金は430,933千円(前年同四半期は101,142千円の使用)となりました。これは主に長期借入金による収入500,000千円に対し、長期借入金の返済による支出65,263千円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,448,605	1,830,190
受取手形及び売掛金	2,353,831	1,762,514
有価証券	4,000	14,000
商品及び製品	606,336	393,672
仕掛品	336,199	473,852
原材料及び貯蔵品	37,613	48,732
仕掛不動産	1,255,417	1,463,178
預け金	1,444,744	1,762,263
その他	206,336	70,127
貸倒引当金	2,794	2,770
流動資産合計	7,690,291	7,815,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	455,962	446,203
減価償却累計額	137,994	116,851
建物及び構築物(純額)	317,968	329,352
機械装置及び運搬具	524,053	512,039
減価償却累計額	253,335	202,592
機械装置及び運搬具(純額)	270,717	309,446
土地	826,811	826,811
その他	80,619	77,124
減価償却累計額	56,577	50,865
その他(純額)	24,042	26,259
有形固定資産合計	1,439,539	1,491,870
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	7,064	7,654
無形固定資産合計	372,064	372,654
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
長期未収入金	421,657	401,993
出資金	9,205	9,205
敷金及び保証金	154,388	163,810
その他	17,713	21,503
貸倒引当金	421,658	402,010
投資その他の資産合計	283,251	296,447
固定資産合計	2,094,855	2,160,971
資産合計	9,785,147	9,976,734

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,764	12,965
短期借入金	46,000	49,000
1年内返済予定の長期借入金	91,836	37,576
未払金	48,657	189,015
未払法人税等	22,747	36,224
債務保証損失引当金	38,302	89,264
その他	77,056	33,255
流動負債合計	329,364	447,300
固定負債		
長期借入金	383,102	2,625
長期末払金	73,347	81,483
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	3,130	3,130
債務保証損失引当金	34,534	-
固定負債合計	501,147	94,271
負債合計	830,511	541,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	3,796,595	3,316,168
自己株式	30,834	30,734
株主資本合計	8,954,635	9,435,162
純資産合計	8,954,635	9,435,162
負債純資産合計	9,785,147	9,976,734

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	28,193,833	25,214,323
売上原価	25,096,750	24,684,181
売上総利益	3,097,083	530,141
販売費及び一般管理費	1,266,071	945,003
営業利益又は営業損失()	1,831,012	414,861
営業外収益		
受取利息	831	230
国庫補助金収入	9,618	9,473
違約金収入	-	7,000
その他	13,935	8,102
営業外収益合計	24,384	24,805
営業外費用		
支払利息	1,519	5,612
休山管理費	63,683	56,839
その他	4,676	4,318
営業外費用合計	69,879	66,769
経常利益又は経常損失()	1,785,517	456,826
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	20,348	19,664
その他	11	103
特別利益合計	20,359	19,767
特別損失		
貸倒引当金繰入額	20,447	19,664
仕掛不動産評価損	1,917,785	-
たな卸資産評価損	126,770	-
訴訟和解金	-	5,343
債務保証損失引当金繰入額	-	3,237
減損損失	698,429	-
その他	3,697	-
特別損失合計	2,767,130	28,245
税金等調整前四半期純損失()	961,253	465,304
法人税、住民税及び事業税	16,332	15,122
法人税等合計	16,332	15,122
少数株主損失()	1,541	-
四半期純損失()	976,044	480,426

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	961,253	465,304
減価償却費	65,857	77,826
減損損失	698,429	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	20,482	19,672
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	-	16,426
受取利息及び受取配当金	968	249
支払利息	1,519	5,612
有価証券売却損益(は益)	1,645	-
仕掛不動産評価損	1,917,785	-
たな卸資産評価損	126,770	-
訴訟和解金	-	5,343
売上債権の増減額(は増加)	1,628,264	591,316
たな卸資産の増減額(は増加)	2,716,506	135,390
仮払金の増減額(は増加)	605,457	2,371
仕入債務の増減額(は減少)	24,497	8,200
未払金の増減額(は減少)	-	83,049
預け金の増減額(は増加)	-	1,589,434
その他	90,852	52,679
小計	2,234,413	2,459,829
利息及び配当金の受取額	925	235
利息の支払額	1,519	4,852
法人税等の支払額	21,076	22,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,212,742	2,486,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	450	-
有価証券の売却による収入	16,988	-
有価証券の償還による収入	-	10,000
有形固定資産の取得による支出	116,277	91,794
無形固定資産の取得による支出	4,455	123
長期貸付金の回収による収入	-	5,000
長期未収入金の増加による支出	20,447	19,664
敷金及び保証金の差入による支出	28,473	9,382
敷金及び保証金の回収による収入	-	17,646
その他	791	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	152,324	88,318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	3,000
長期借入れによる収入	-	500,000
長期借入金の返済による支出	99,123	65,263
配当金の支払額	1,900	703
その他	118	99
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,142	430,933
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,959,275	2,143,848
現金及び現金同等物の期首残高	1,191,370	3,592,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,150,645	1,448,605

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	貴金属事業 (千円)	不動産事業 (千円)	機械事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,238,877	4,851,542	1,103,413	28,193,833	-	28,193,833
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	21,755	-	21,755	(21,755)	-
計	22,238,877	4,873,298	1,103,413	28,215,589	(21,755)	28,193,833
営業利益（は損失）	206,193	2,840,732	414,393	2,220,146	(389,134)	1,831,012

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	貴金属事業 (千円)	不動産事業 (千円)	機械事業 (千円)	投資事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	24,125,963	281,258	485,826	321,274	25,214,323	-	25,214,323
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	12,547	-	-	12,547	(12,547)	-
計	24,125,963	293,805	485,826	321,274	25,226,870	(12,547)	25,214,323
営業利益（は損失）	102,216	195,440	163,046	306,937	153,765	(261,096)	414,861

(注) 1. 事業区分は、事業の性質及び業種別に区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品及び事業内容

事業区分	主要製品及び事業内容
貴金属事業	金地金、銀地金、白金地金、パラジウム地金等の生産販売 含金銀非鉄金属の仕入販売
不動産事業	不動産の売買、分譲・賃貸マンションの販売、賃貸、仲介、保守管理
機械事業	各種中古工作機械、鋁金機械等の売買
投資事業	有価証券の保有、売買、運用その他の投資

3. 投資事業は、重要性が増したことから、事業内容をより適切に表示するためセグメント区分することにしたしました。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）は、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）は、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。